

事業の背景・目的

富山県中央植物園で保有する温帯から亜熱帯地域原産の国内希少野生動植物種シマカコソウ、タカクマムラサキ、ツクシムレスズメ、コモチナナバケシダの 4 種について、最適な栽培方法の確立を目指すとともに、種子や孢子、挿し木、不定芽を用いて増殖を図り、生息域外での消失リスクの軽減を図る。また、事業対象種の種子や孢子の長期保存方法を調査し、限られたスペースで遺伝的多様性を担保する効率の良い生息域外保全を目指すとともに、対象種の種子や孢子を用いた野生復帰等による自生地復元に備えるためにも、発芽温度や休眠性などの発芽特性を精査する。

事業の内容

ア 保有株の増殖事業

- 保有するシマカコソウ、タカクマムラサキ、ツクシムレスズメは種子や挿し木により、コモチナナバケシダについては孢子と不定芽により増殖を図った。

イ 種子・孢子の発芽特性と長期保存方法の調査事業

- シマカコソウとタカクマムラサキの種子を用いて、段階温度法による休眠性の調査、恒温温度条件と変温温度条件での発芽試験により発芽特性を調査した。
- シマカコソウとタカクマムラサキの種子、コモチナナバケシダの孢子を採集し、常温、冷蔵、冷凍条件下で保存した。
- コモチナナバケシダの孢子の発芽に最適な培地と温度条件を見出した。



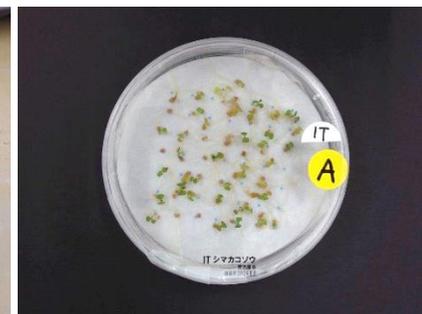
孢子の発芽状況の観察

得られた成果

- シマカコソウ、タカクマムラサキ、ツクシムレスズメの種子や挿し木、コモチナナバケシダの孢子と不定芽により増殖し、消失リスクを軽減した。
- シマカコソウとタカクマムラサキの種子を用いて、段階温度法による調査を行い、種子に休眠性がないことを確かめた。
- シマカコソウとタカクマムラサキの種子、コモチナナバケシダの孢子を採集し、常温、冷蔵、冷凍条件下にそれぞれ2500粒以上保存した。
- コモチナナバケシダの孢子の発芽に最適な培地と温度条件を見出した。



挿し木増殖中のタカクマムラサキ



シマカコソウの発芽試験